

# 建設現場 環境改善へ拠点

## 25年完成へ 大垣のTSSUCHIYA

総合建築業のTSSUCHIYA（大垣市神田町）は、新たな技術開発拠点

「テクニカルイノベーションセンター（TICC）」を、同市内原に建設する。人工知能（AI）を活用した新技術の研究開発を進め、建設業界の人手不足問

題への対応などを目指す。2025年9月の完成予定。

新拠点では、作業者が装着したカメラが取得した現場の動画データから、AIが危険箇所などを把握して事故を防止する新技術の開発などを進める。現場のデジタルトランスフォーメーション（DX）により、重労働で危険が伴う建設現場の環境改善を目指す。

一部の研究はすでに始めており、完成後の25年内に実証実験することを見込む。他に、AIに多くの図面や実際の施工現場を学習させ、重機を自動操縦させる技術の研究にも取り組む。

ことが重要」と、研究開発を強化する狙いを説明する。

新拠点は鉄筋コンクリート造と一部木造の混構造3階建てで、延べ床面積は約1230平方メートル。総工費は約11億8千万円。建築家隈研吾氏の設計事務所が監修し、木材を重視した外觀が特徴だ。

震度7でも耐えられる設計にし、浸水した場合でも業務が続けられるように主要機能は2階以上に設ける。災害時には、市の指定一般避難所にもなる見込み。

環境にも配慮する。太陽光などの再生可能エネルギーによる発電と、ガラス壁面を二重構造にして空調の効率を高めるなどの節電で、建物のエネルギー消費量の実質ゼロを目指す「ZEB（ネットゼロ・エネルギー・ビルディング）」とする。



技術開発拠点TICCの

完成予想図 同社提供